第2部会（第1回）意見集約表（案）

資料2

審議内容：農林水産に関する部分

委員名	No.	素案ページ	区分	各委員からのご意見	意見集約（案）
星委員	1	P153	政策9 農林水産	儲かる農業といった部分について、新潟市は米や酒、果樹・園芸などがある中で、儲かる農業のイメージが、どうなったら儲かったということになるのかというのが分かりづらい。具体的にどうなったら儲かったという形になるのか。	「儲かる農業」のイメージが掴みづらいので、イメージがわかるような記載を加えてはどうか。
小宮山委員	2	P153 P155	政策9 農林水産	日本は人口減少が進む中で、需要が縮小していくことが予測されている。その一方で、海外は今後しばらくは人口が増加するとされている。様々な方策があるとは思うが、もっと海外への販売などを強調しても良いのではないか。	将来を見据えた課題として、日本の人口減少による需要の減少、海外の人口増加などを踏まえた、グローバルな観点からの記載を追記してはどうか。
吉田委員 （欠席者 意見）	3	P154	政策9 農林水産	スマート農業の加速化の一部分として「大規模農業の改革拠点」という文章があるが、「大規模農業の改革拠点としての国家戦略特区域指定」をタイトルとして、この特区を有効かつ大胆に活用して、大幅な規模改革を断行、デジタル技術を活用したスマート農業の加速化を進める、という文脈にした方が良いのではないか。	「スマート農業の加速化」をタイトルに国家戦略特区の指定がぶら下がっているが、国家戦略特区をタイトルとして、「大規模農業の改革」や「スマート農業の加速化」をぶら下げる形にしてはどうか。
北川委員	4	P155	政策9 農林水産	儲かる農業にするにはどうしたらいいかということで、重要だと考えているのが155ページの3番目で、意欲ある担い手を確保してどう育成するかということ、153ページの表をどのように分析するかによるが、担い手がいないというのは、息子が継がないのか親せきが継がないのか。もしそういうことであれば、新潟市外から連れてくるのか、あるいは県外から連れてくるのか踏まえた対策をしなければいけない。	施策1③において、担い手の確保・育成を図るうえで、ターゲットとなる後継者をどのように捉え、対策を講じていくのか補記してはどうか。
神林委員	5	P155	政策9 農林水産	155ページの④の一つ目の丸印 果樹については、需要はあるものの生産が著しく減少しており、それに対応するため支援を行うというようなニュアンスの書きぶりがいいのではないか。抜本的に対策を講じないと果樹の生産はさらに減少することから、果樹振興についてはもう少し書き込んだら良いのではないか。	施策1④における果樹の記載について、「需要はあるものの生産が著しく減少しており、それに対応するための支援を行う」という記載を補記してはどうか。

第2部会（第1回）意見集約表（案）

審議内容：農林水産に関する部分

委員名	No.	素案ページ	区分	各委員からのご意見	意見集約（案）
遠藤委員	6	P155	政策9 農林水産	米をはじめとした農作物の輸出促進に取り組むとあるが、具体的な農産物は米なのか、それ以外のものなのか。また、輸出先は欧米なのか、アジア圏なのか、そういったマーケティングの部分というのはどうなのか、長期的にどういったイメージなのか。	施策1⑤において、販売促進・販路開拓の部分で具体的な方向性や若者の意見を取り入れたSNSでの広報など、もう少し記載を加えてはどうか。
志田委員	7	P155	政策9 農林水産	マーケティングや広報については、市内農業団体と連携し、地域一体となって活動で取り組みますとあるが、できればネットとかそういうものを上手に活用して、特に若者の意見を取り入れ、それぞれ一つの農家のところの1個のホームページを立ち上げるとかではなく、いろいろな農家の農産物が一度で見られるような、そういうサイトがあるといいと思う。もう少しみんなが買いたくなるような、広報が上手にできるような取組をしていただけるといいのではないか。	
福田委員	8	P155	政策9 農林水産	もし新潟の食材を世界にPRして出したいのだったら、まず、マーケティングをやって、どういう戦略で新潟の農産物をだれに売り込むかを決めない限り、絵に描いた餅でしかないので、そういう考え方が必要である。	
古津委員	9	P156	政策9 農林水産	飲食店や消費者のニーズを農家にフィードバックできるような状況を作る必要があると感じている。 「新たな需要」というのが本当に需要なのかも含め、農業従事者に今どのような市場感があるかなど、経営感覚のない方々にも知ってもらうことは、今後新しい農産物を作るうえで大切な視点ではないか。	施策2において、農林水産業を活かした新しい事業やアイデアに対し、柔軟に幅広くサポートしていくという方向性を表現してはどうか。
小宮山委員	10	P156	政策9 農林水産	これからの需要は消費者も知らないので、需要を創出していくところも含めてサポートできる体制が必要。新しいアイデアを持った若者がニーズを作り出していく、また、農家と結んでいくところに幅広くサポートする方向性があると良い。	